

## 防災スポットの整備を進めています！！

- ・防災スポットは、日常的な憩いの場として、災害時には火災の延焼遅延等、防災性の向上を図るために設置されています。
- ・いざというときに備え、防災スポットには、かまどベンチ、マンホールトイレ、防災井戸、ソーラーパネル式の電灯など、設置場所や広さなどにあわせて、様々な防災設備を整備しています。
- ・現在、地区内には3箇所の防災スポットが整備されており、今後も新たに3箇所（★印）、整備を進める予定です。



（仮称）江川堀防災スポット  
（町屋4-30）  
約385㎡  
令和3年度整備予定

（仮称）町屋二丁目  
防災スポット  
（町屋2-13）  
約101㎡  
令和2年度整備予定

（仮称）町屋三丁目睦  
防災スポット  
（町屋3-14）  
約104㎡  
令和3年度整備予定

町屋三丁目防災スポット（町屋3-30-13）  
約50㎡  
H29.4.1開設



豊島通り防災スポット（町屋3-15-6）  
約79㎡  
H30.8.1開設



町屋四丁目江川防災スポット（町屋4-21-2）  
約83㎡  
H30.4.1開設



## 土地の売却をお考えの方は下記【お問合せ先（事務局）】へご相談ください！

売却いただいた土地は、防災スポット等の用地や、道路拡幅に伴う代替地として活用いたします。

## 拡幅している道路を周知するために・・・ 看板を設置しました。

道路拡幅整備を進めている豊島通り沿道には、豊島通り防災スポットへ看板を設置しました。  
D号線沿道で整備を予定している『（仮称）町屋二丁目防災スポット』にも設置します。  
今後、他の路線沿道でも道路拡幅整備路線に関する情報等を記載した看板の設置を進めていきます。



豊島通り防災スポット設置の看板

町屋二・三・四丁目にお住まいの方等で、町屋二・三・四丁目地区の防災まちづくりに興味があり、協議会にご参加を希望される方は、下記までご連絡ください。



【お問合せ先（事務局）】  
荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課（区役所北庁舎2階⑭窓口）  
Tel 3802-3111（内線2829） 担当：長久保、伊藤



あらみい あら坊

# 町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり まちやタイムす

発行：町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会  
荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課  
編集協力：ランドブレイン株式会社

## ～『安全で住みよい、暮らしよいまち』の実現に向けて～ 協議会の活動をご報告します！

町屋二・三・四丁目地区は、老朽化した木造住宅が密集しており、火災が発生すれば、燃え広がってしまう恐れのある地区です。

「町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会」では、本地区のまちづくりの目標である『安全で住みよい、暮らしよいまち』の実現に向け、これまで様々な取り組みを行ってきました。これらの取り組みは下図のように大きく5つに分類されます。

今年度については、『自分たちの命を守る道路づくり』に係わる取り組みとして、安全な避難路を確保する必要性はもちろん、拡幅整備を進めている道路が地区内のどこにあるのかを知ってもらい、愛着をもっていただくことが必要ではないかと考え、路線の通称名を検討しています。

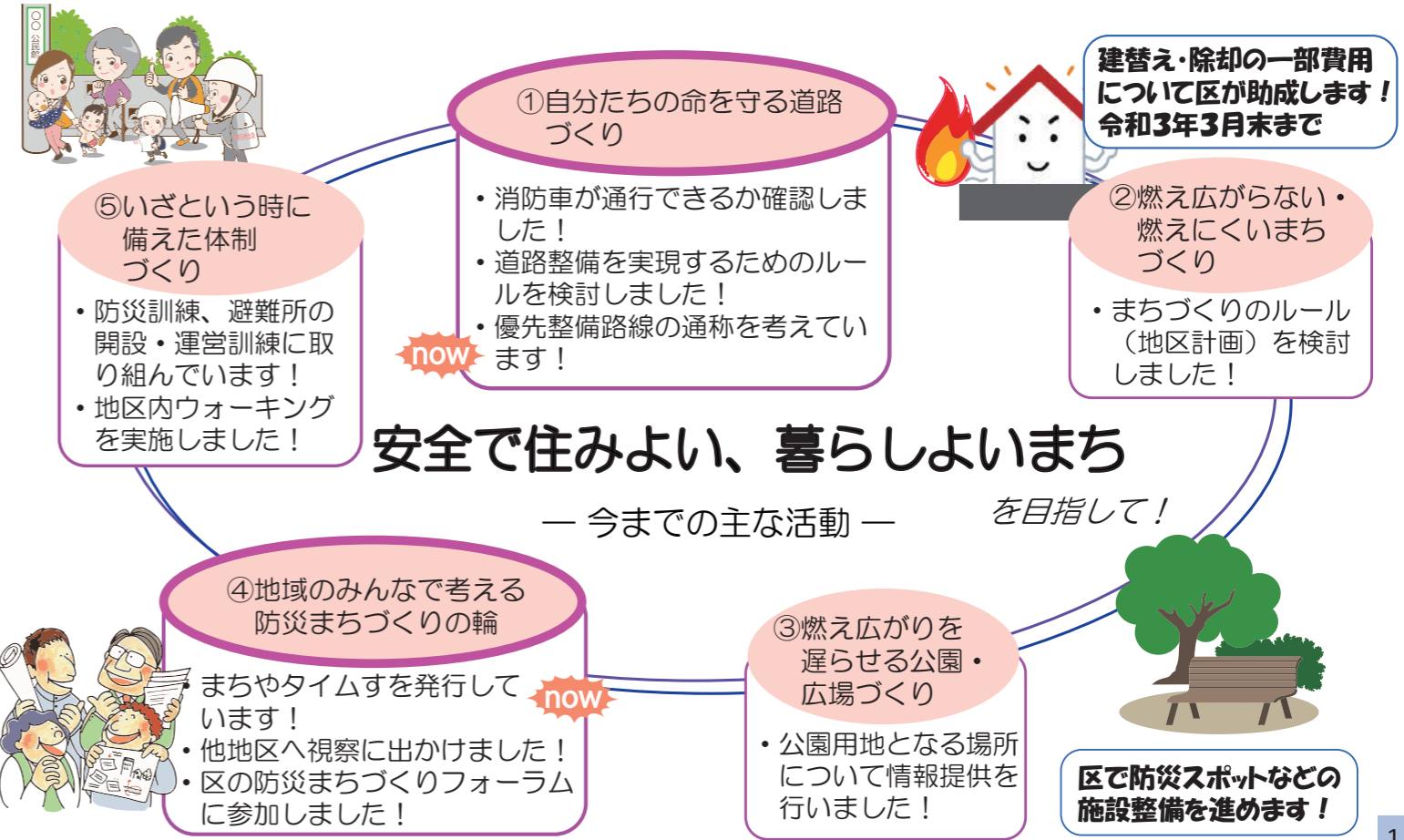
また、『地域のみんなで考える防災まちづくりの輪』を広めていくため、本誌に興味・関心を持っていただけるような掲載内容に努めていきます。

地区にお住いの皆様で5つの取り組みを進めていきましょう。



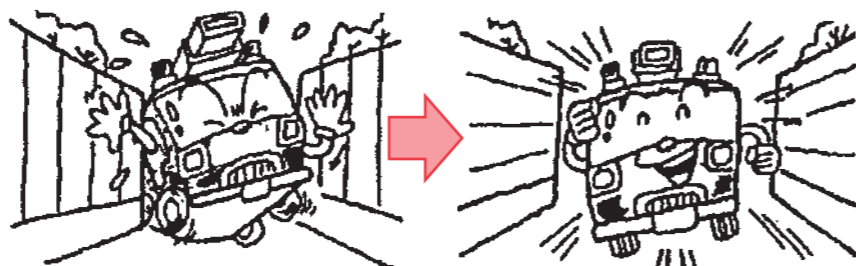
第2回協議会の様子

## 『安全で住みよい、暮らしよいまち』の実現に向けて



# 地区内の優先整備路線の通称を考えよう！

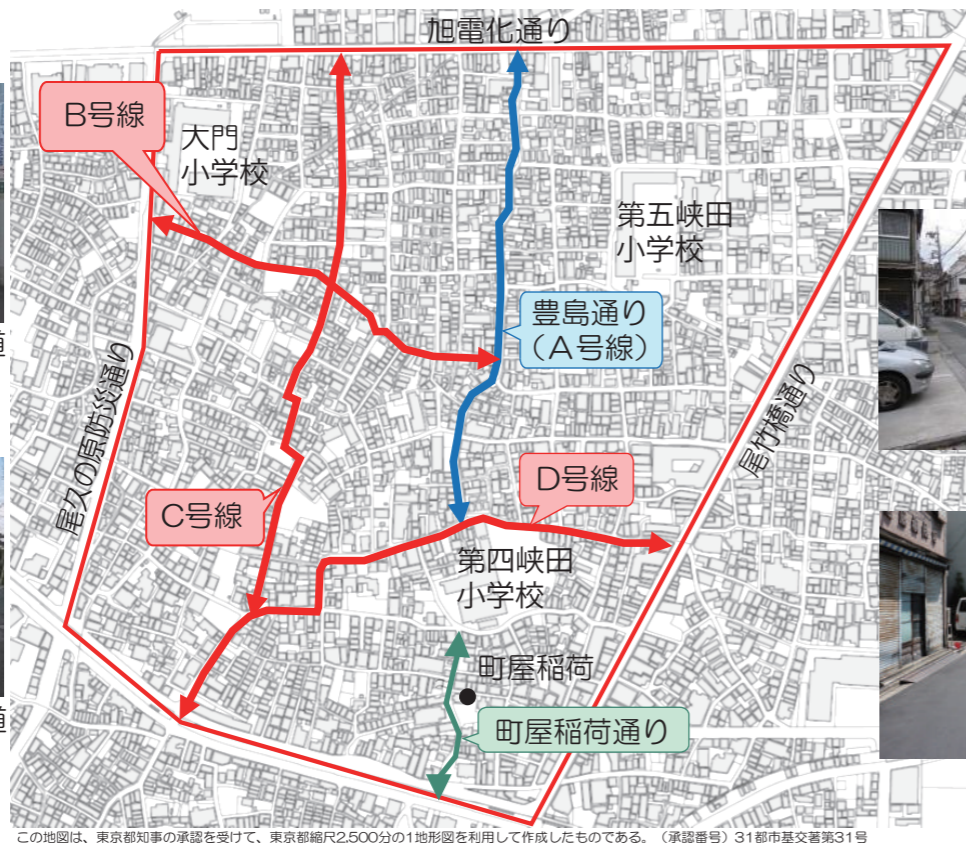
町屋二・三・四丁目地区には、将来幅員6mの道路として拡幅整備を進めている優先整備路線が、4路線あります（図中A～D号線）。これらの路線について、愛着を持ってもらえるように、『豊島通り』以外の他の3路線（B・C・D号線）について通称を考えています。



B号線沿道



C号線沿道



豊島通り沿道



D号線沿道

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号）31都市基交審第31号

## 今後の予定

令和2年度  
■ 通称（協議会の案）の検討

■ アンケートなどの実施  
（皆さんからのご意見を伺います）  
■ アンケート結果・協議会の検討を踏まえた通称の決定

令和3年度以降  
■ 通称を地区に広める



## 優先整備路線とは？

災害発生時の避難路として、また、消防車などの緊急車両が円滑に通行ができるよう幅員6m以上の道路として整備する道路です。



## なぜ通称を考えるの？

通称があると、以下のような利点があります。

- ・場所を特定しやすい、相手に伝えやすい
- ・地域のイメージアップにつながる

『豊島通り』といえば、どこのことが皆さん分かりますよね？



## 地域イベント情報

日時	会場	イベント名称
6月6日（土） 7日（日）	町屋・三河島・南千住地区 町内巡行（神輿と山車）	素盞雄神社 天王祭
7月26日（日）（予定）	くすのき山公園	納涼大会

※詳しくは区からのお知らせや各町会からのお知らせを参照ください。

## 道路の通称を考えるためにまちの歴史を知ろう！ ～「まちや」の地名などの由来～



B号線、C号線、D号線の通称を考えるうえで、まちの歴史がヒントになるのではないのでしょうか。町屋にまつわる地名などの由来について調査しました。

### ○「まちや」の由来

- ・昔、野は「や」と呼ばれていました。
- ・現町屋七丁目付近でとれる土（真土：まつち）は粘性が高く壁土や焼物用の土として重宝されていました。
- ・「まつち」が広がる「や」で「まつちや」。「まつち」が音便化して「マツチヤ→マッチヤ→マチヤ」となったという説があります。

『町屋の民俗』（平成5年発行）より作成

### ○小学校の「峡田」・「大門」の由来

町屋地区内には、「第四峡田小学校」、「第五峡田小学校」、「大門小学校」の3つの小学校があります。小学校の名称に使われている「峡田」、「大門」の名称のルーツを探ってみましょう。

#### ■ 峡田（はけた）

- ・『峡田（はけた）』とは、『新編武蔵風土記稿』にみられる豊島郡の領名。
- ・峡田は「山の岸または丘の片なだれのところに作った田」の意。地勢から命名したとされる説が有力。
- ・明治16年に公立峡田小学校が開校される際、当時の村議会で『峡田』を校名に使用することが決定されたとのことです。

『荒川区史跡散歩』より作成

#### ■ 大門（だいもん）

- ・かつて阿遮院の大門（おおもん）があり、地名としては残っていませんが、その周辺の地区を「大門（だいもん）」と呼んでいたとされています。

『良く分かる大門小学校八十周年記念資料集』より作成

### ○「江川」の由来

- ・町屋地区内にある町会の名称に江川町会があります。町屋の西部、大門あたりに隅田川まで至る小さな堀があり、それが「江川堀」と呼ばれていました。この堀の名前である「江川」が町会の名称に用いられています。

協議会員のお話より作成

### ○実は由来が不明確な道路

- 町屋稲荷通り
  - ・町屋稲荷の前を通り第四峡田小学校まで道路。
  - ・この愛称は、周辺で定着している呼び方として愛称となったそうです。
- 豊島通り
  - ・地区の中央を南北に走る「豊島通り」。
  - ・町屋に「豊島」という地名は残っていませんが、町屋は昔、北豊島郡町屋村と呼ばれており、その中心的な通りであったことから名前が残っているのかもしれませんが。

## 「まちや」の成り立ち

- ・延暦20年（西暦801年頃）  
八幡太郎義家が南千住に渡り、随行者が現在の町屋の地に移住
- ・慶安2年（西暦1649年頃）  
町屋村が成立
- ・安政5年（西暦1858年頃）  
町屋村絵図面が作成  
慈眼寺や原稲荷神社などの記載あり
- ・明治11年  
北豊島郡町屋村
- ・明治22年  
東京府北豊島郡  
三河島村大字町屋
- ・大正9年  
北豊島郡三河島町  
大字町屋
- ・昭和7年  
東京市荒川区町屋
- ・昭和22年  
東京都荒川区町屋
- ・明治16年  
峡田小学校開校
- ・明治26年  
火葬場の開業
- ・大正2年  
王子電車開通（町屋駅開業）
- ・大正12年  
関東大震災後、人口流入による宅地化の進展
- ・大正14年  
第四峡田小学校開校
- ・昭和3年  
王子電車（稲荷前駅開業）
- ・昭和6年  
京成電車開通（町屋駅開業）  
第五峡田小学校開校
- ・昭和7年  
尾竹橋開通
- ・昭和9年  
尾竹橋通り開通
- ・昭和44年  
地下鉄千代田線開通

『町屋の民俗』（平成5年発行）より作成

